

59 ガラスシタダミ科の一種 (ガラスシタダミ科)

兵庫県ランク:A

*Xenoskenea* sp.

環境省ランク:DD

種の概要

英虞湾、和歌浦に分布。カクメイ属の一種(貝類Aランク)と同様に砂泥底潮間帯から潮下帯の還元環境に生息する。未記載種。殻径1.2mm。淡路島産は殻径3mm前後。殻は低平で光沢が強く無色透明のガラス質。外套膜上に鮮明な朱色の色素斑をもつ。口吻の前端と腹足の後端はカクメイ科の種と異なり二分しない。

主要な選定理由

人為性			生息環境の特殊性		学術性		
個体数激減	分布域に影響	営利目的捕獲	特殊生息環境	地域的孤立	分布が極限	分布の限界	希少
			○	○	○		○

県内分布

洲本市

県内における生息状況及びその他特記事項

新規追加種。淡路島中部の内湾最奥部にある船溜まりの一面海藻に被われた泥底でカクメイ属の一種とともに確認された。同所では最優占種であり、1回の調査で約100個体余り確認されたが、カクメイ属の一種と同様に2012年以降再発見されていない。本種もカクメイ属の一種と同様に5月に得た個体は殻径2mm前後であり、7月には殻径が3mm前後に成長した個体が得られた。8月下旬の調査では殻径2mmほどの個体が得られ、大型個体は死貝のみであった。また、7月にカクメイ属の一種とともに持ち帰った個体も同様に産卵が確認された。

保護上の留意点

内湾奥部や入江、船溜まりなどの潮通しの悪い底床が還元状態の場所は、場所柄、埋め立てや浚渫されやすい。また、衛生的にも懸念されがちである。しかし、人工的に汚濁されていない限り、自然由来の還元環境は存続させるよう検討する。



写真提供：川渕千尋



写真提供：川渕千尋

【執筆者】 川渕千尋